

寄せられた意見

No. 143-1

受付日	H18. 7. 5	年齢		居住 市町村名	
件 名	サンルダム建設促進市民大会について				

平成18年7月5日

天塩川流域委員会 御中

サンルダム建設促進名寄市民会議

代表 名寄商工会議所会頭 [REDACTED]

サンルダム建設促進市民大会について

天塩川流域委員会の皆様には、日頃より天塩川流域の安全安心、天塩川流域住民の豊かな生活のため、ご尽力いただいていることに感謝申し上げます。

我々「サンルダム建設促進名寄市民会議」は名寄市内の産業団体の賛同を得て、サンルダムの早期着工に向けた活動をするために結成されました。

去る、7月3日に、「サンルダム建設促進市民大会」を開催し、名寄市民をはじめ600名の方々に集まっていただきました。

「サンルダム建設促進市民大会」は、治水対策をはじめとして市民の生活用水、農業用水などを確保して、流域住民の安全と安心を確保し、これまで通り豊かな生活を維持していくためには、サンルダムは極めて重要であり、一日も早い本体着工を目指して活動していくこうという主旨で開催しました。

大会では、各方面の方より、治水や洪水対策、安全な飲料水の確保など、サンルダムの必要性を訴える報告があり、決意表明としては、農業者代表の方と市民代表の方が、住民の生活用水と農業用水の安定確保を強く訴えられました。

そして大会の最後には、「サンルダム建設は流域住民の生活を守るために必要な事業」と声高らかに大会宣言を読み上げ、満場の拍手で採択されました。

ここに、流域住民の安全と安心を確保する上で、サンルダムは不可欠であり、我々流域住民の総意として、一日も早い完成を熱望していることをお伝えします。

天塩川流域委員会の皆様には、サンルダムの本体の早期着工に向けてさらなるご尽力をお願いいたします。

寄せられた意見

No. 143-2

受付日	H18. 7. 5	年齢		居住市町村名	
件 名	サンルダム建設促進市民大会について				

大 会 宣 言

日本最北の地を北に向かって流れる「天塙川」は、北北海道の士別、名寄市を始めとする二市八町一村を悠々と流下する、日本で四番目の長さを誇る大河であります。

天塙川水系名寄川上流域のサンルダムは、昭和四十三年度から予備調査が、昭和六十三年度より実施計画調査が始まられ、平成五年度から建設着工となり、平成七年度に基本計画が告示された国内最北の多目的ダムです。

本ダムは、下流一七〇キロメートル余りにわたる治水防災の安全を向上すること、河川流量の確保と河川環境を向上し、既得の水利を安定供給することに合わせ、都市用水を確保し生活環境を向上するなど、天塙川流域にとって極めて重要な施設であります。

本ダムは、昭和四十八年・五十年・五十六年をはじめ過去幾度となく氾濫し、多数の家

屋が浸水する大洪水が起きており、再びいつ発生し流域住民に甚大な被害を与えるかわからぬ洪水に備えておく必要があります。また、生活水準の向上や各種産業振興上、水利用が増大し、更に夏の渇水期には河川水が不足し、臭氣や色度が上昇しており、水資源の安定した確保が急務となっております。

このため、流域住民の安全と安心を確保する上で、サンルダムは極めて重要であり、我々流域住民の総意として、一日も早い完成を熱望しております。

以下、次のことを求め、サンルダム本体の早期着工に向けて活動することを宣言します。

一 天塙川流域はこれまで、幾多の洪水に見舞われてきており、洪水被害から地域を守るために治水事業を進め、より安全な地域づくりを進めます。

二 天塙川や名寄川などの水は、地域住民の水道水や各種産業用水として重要な役割を担つており、安定した水量を確保し、流域住民の生活を支えます。

三 ダム建設に当たっては、下流域での漁業に配慮したサンルダムの建設を目指します。

四 サンルダムの建設は総合的な治水対策、渇水対策として大きな効果が期待でき、流域の生活を守るために必要な事業であり、早期本体着工及び完成を目指します。

以上宣言します。

平成十八年七月三日

サンルダム建設促進市民大会